

# 広報委員 放浪記



## 深川のツキ

◆撮影場所 第一学区 深川集落

鶴岡方面に出かけるときや、仕事に行くときに通る深川集落の西端の道に、大きなケヤキの木があります。ある時立ち止まって近くまで行ってみると、遠目からだよく分かりませんでした。その木は空洞化が激しく、よくこんなに堂々と立っているなあと思われました。空洞部分は大人がゆうに入れるくらいの大きさでさらに驚きでした。このケヤキは「深川のツキ」といい、ツキとはケヤキの古名で江戸時代以前からそこにあり、この付近には赤沼という大きな沼があったとされ、南北に川が流れていたともいわれています。そしてこの付近は漁舟の休み場であったということから舟つなぎのツキといわれてきたと推測され、南北に流れていた川は深い淵になっていたともいわれ、深川という名の由来になったそうです。町の指定文化財・天然記念物となっています。興味のある方はぜひ足をのばしてみてください。



●取材／広報委員 ㊦

## 旧十六合小学校校門

◆撮影場所 第四学区 前田野目集落

前田野目にあるグラウンドゴルフ場「ひだまり」の施設前に、とても懐かしいものを見つけました。それは旧十六合小学校の校門です。思ったよりしっかりした姿で残っており、見つけた瞬間に、もう40年以上前のことなのに、2階建てのりっぱな木造校舎の姿が鮮やかによみがえってきました。校舎があったところにクラブハウスが建っていて、子どもたちが走り回っていたグラウンド部分は、広大なグラウンドゴルフ場「ひだまり」となり、今は春から秋にかけていつもたくさんの愛好家が集まり、グラウンド・ゴルフを楽しんでいます。



●取材／広報委員 ㊦

十六合小学校は、明治13年に善誘学校として建てられ、その後前田野目尋常小学校、十六合尋常小学校、十六合尋常高等小学校、十六合国民学校、十六合小学校と校名が変わり、昭和52年3月までおよそ100年、明治・大正・昭和の長い間、地域の中心となってきました。平成、そして令和となった今日も、十六合小学校の校門が、在りし日の姿をわたしたちに静かに伝えていきます。

## 庄内町の文化財

### 稲垣家所蔵古文献

「八幡宮御本記」をはじめ、「八幡社領租税録」まで寛文6年（1666）から明治期（1890年代）の古文献12冊です。その記述資料は、旧領主・余目佐藤氏、土肥氏、余目安保氏等に関する記述に加え、上杉氏、武藤氏の支配を経て酒井氏、明治政府に至る諸記録は、数少ない郷土の歴史資料を補う貴重な存在と思われれます。平成16年1月に町指定文化財に指定されました。



※「庄内町の文化財」のコーナーは今号で最終回となります。

## 12/20 税の専門家による出前講座！余目中学校で租税教室を開催



3年生を対象に開催され、鶴岡税務署の職員の方を講師に、税に関するクイズやビデオ鑑賞、グループワークなどを行いました。

## 12/21 まつりで町おこしセミナー



コアアルザを会場に約30人が参加。(株)オマツリジャパンの大山勝廣氏の講演やワークショップを行い、「まつりで町おこし」について意見を出し合いました。

## 12/21 庄内町の幸福を考える町民ワークショップ



響ホールを会場に、北海道大学名誉教授宇都宮敏夫氏による「何が人を幸福にするのか」と題した基調講演や、参加者によるワークショップが行われました。

## 12/22 子育て応援住宅内覧会



南野地区に建設中の子育て応援住宅の一部が完成し、すでに入居が決まっている家族や地元住民のみなさんを対象に内覧会が行われました。

## 12/24 建物火災初期消火協力者に感謝状を贈呈



住宅密集地での火災拡大を防いだとして、酒田地区広域行政組合消防本部消防長より、國井守さん（猿田町）と堀巧也さん（同）の2人に感謝状が贈呈されました。

## 1/12 千河原八幡神社 ややまつり



社名旗持ちが先頭となり、裸に腰ミノ姿で冷水を浴びた男児8人は集落を一周して、無病息災や身体堅固、安産を祈願しました。